

校長室からこんにちは!

No. 9

5月31日

発行者 中田 禎二

お弁当と食育

ドーハ日本人学校には給食がありません。しかし、子どもたちは毎日おうちの人を作ったお弁当で楽しい昼食タイムを過ごしています。実はここに食育のエキスが詰まっているのです。

それは…日本では今年も6月1日から6月30日までを「食育月間」と位置づけ関係省庁が様々な取り組みを行います。

文科省のHPを覗いてみますと、ここでは 1. 食を通じたコミュニケーション 2. バランスのとれた食事 3. 望ましい生活リズム 4. 食を大切に作る気持ち 5. 食の安全の重要性を言っています。

さあ、みなさん、どうでしょう。これは本校と本校の保護者の皆さんにとっては日々のことではありませんか。異国でのお弁当作りには色々とお苦しみとおありと聞いています。しかし、お弁当を通して、みなさんは食育の実践者として親の愛を運んでおられるのです。

また、内閣府のHPでは「食育とは生きる基本であって知育・徳育・体育の基盤となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること」と述べています。

ところで、私はかつて生きる力とは何ぞや?を問われ、それは、「子どもが中学校を卒業するまでに、自分一人で買い物に行き食材を買って、自分一人でご飯が炊けて味噌汁が作れること」です。と答えたことがあります。

たぶん、いやきっと、毎日愛情いっぱいのお弁当を食べているドーハっ子たちは、「生きる力」を身につけて中学校を卒業してくれることでしょう。

校長写真館



この花はどこで撮影したものかお分かりですか。これは本校校舎正面の花壇です。実は校舎の裏にも咲いている花達があります。

これからの酷暑の中を、砂煙の中を、しっかりと根を張って咲き続けて欲しいと願っています。ドーハ日本人学校の一員として。

ちょっとお耳を...

いつごろからだろう、子どもの歌声に涙腺が緩みだしたのは。

ある人は、年だからと言い、

ある人は、ただ涙もろいからと言う。

両方当たっているかもしれない。

しかし、そうさせるのは、やっぱり子どもが歌うから。

子どもの輝く生命溢れる声だから。

それを感じることでできる幸せに包まれながら、決してミニミニではない、29人一人ひとりが主役の、明日の「ミニミニ音楽会」を楽しみたい。